

国際協力事業団

ボリヴィア共和国エネルギー炭化水素庁

ボリヴィア共和国
再生可能エネルギー利用
地方電化計画調査

主 報 告 書

2001 年 9 月

株式会社コーエイ総合研究所
日本工営株式会社

換算レート

(2001 年 5 月)

US\$1 = ¥120.5

US\$1 = Bs 6.53

Bs 1 = ¥18.5

序文

日本国政府は、ボリヴィア共和国政府の要請に基づき、同国の再生可能エネルギー利用地方電化計画調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施いたしました。

当事業団は、平成 11 年 8 月から平成 13 年 9 月までの間、6 回にわたり株式会社コーエイ総合研究所の田井稔三氏を団長とする調査団を現地に派遣しました。

調査団は、ボリヴィア共和国政府関係者と協議を行うとともに、現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書の完成の運びとなりました。

この報告書が、ボリヴィア共和国の地方電化の進展に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査のご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

平成 13 年 9 月

国際協力事業団

総裁 川上 隆朗

A handwritten signature in black ink, reading '川上 隆朗' (Kawakami Ryurou), which matches the printed name of the President of JICA.

伝達状

国際協力事業団

総裁 川上 隆朗 殿

ここに、「ボリヴィア共和国再生可能エネルギー利用地方電化計画調査」最終報告書をご提出申し上げます。本調査は、貴事業団との契約に基づき、協同企業体株式会社コーエイ総合研究所・日本工営株式会社が、平成 11 年 7 月より 27 ヶ月間にわたり実施してまいりました。

本調査の実施に際しましては、ボリヴィア共和国（ボリヴィア国）のエネルギー需給や社会経済の現状を十分に踏まえて、同国のエネルギー政策に耐えうる地方電化計画を構築すると共に、再生可能エネルギー開発に関する技術移転に努めてまいりました。

本報告書は、ボリヴィア国が今後実施しうる地方電化計画を纏めております。更には、先方ボリヴィアにおいて適時開催されましたコーディネーティング・グループとの会議やセミナーおよびカウンター・パートとの会議における協議を通じて、各界のご意見を反映させております。

この機会を借りまして貴事業団、外務省、経済産業省等の関係者には多大のご理解並びにご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。また、ボリヴィア国における現地調査期間中は、ボリヴィア国エネルギー炭化水素庁、JICA ボリヴィア事務所、在ボリヴィア日本大使館に、緊密なご協力とご支援を頂きましたことにつき、深く感謝申し上げます。

平成 13 年 9 月

協同企業体 株式会社コーエイ総合研究所
日本工営株式会社

ボリヴィア共和国
再生可能エネルギー利用地方電化計画調査団
総括 田井 稔三

Location Map, La Paz



South America

REFERENCE

Capital of Department

Capital of Province

Capital of Sección

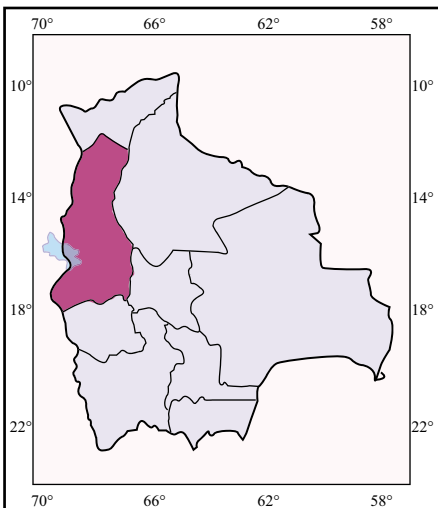
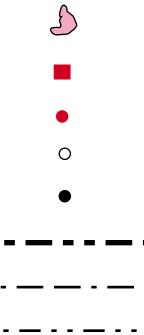
Cantón

Major City/Town

International Border

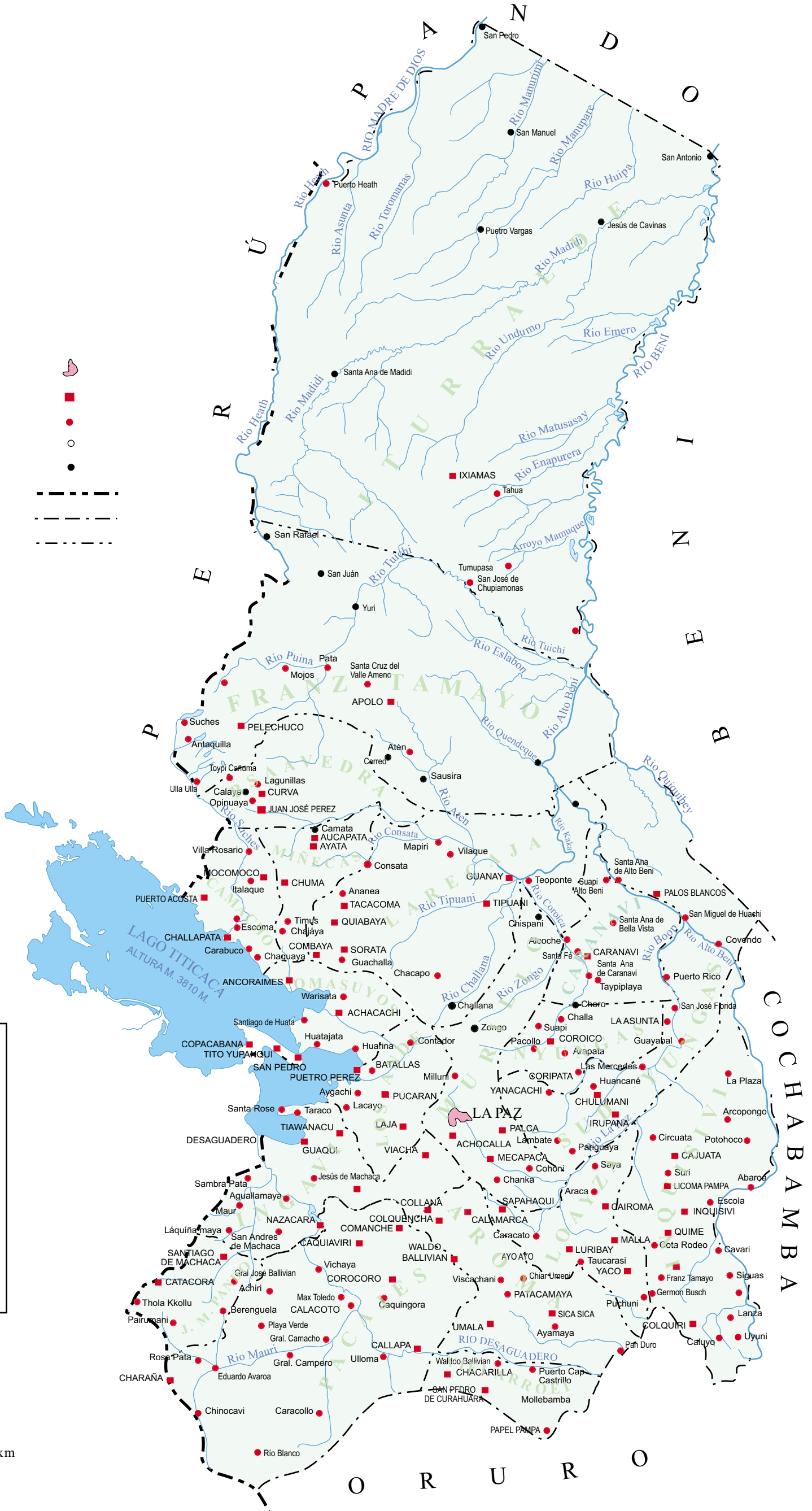
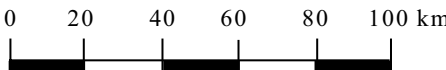
Department Border

Province Border



Bolivia

Scale. 1: 2,000.000



Location Map, Oruro



South America



REFERENCE

- Capital of Department
- Capital of Province
- Capital of Sección
- Cantón
- Major City/Town
- International Border
- Department Border
- Province Border



Bolivia

Scale: 1: 1,209,000

